

サッカーにおけるポジションと性格比較 The comparison between position and personality in football

1K09A237

指導教員 主査 正木宏明 先生

山本 雄大

副査 堀野博幸 先生

【目的】

近年、サッカーの技術戦術は、大きく進歩してきている。フェイントの技術やフォーメーションなどの戦術の目覚ましい進化がテレビや雑誌のメディアなどを介しても確認することができる。

しかし、スポーツの内側の技術(メンタル面)はどうであろうか。実際にプレーとはあまり関わりのないメンタル面に関する向上は、はっきりしたものがないように感じる。そこで本研究にあたって、サッカー選手の性格の違いに目を付けた。

サッカー選手には、冷静沈着に状況に応じてプレーする選手や少し気性の荒い選手など様々なタイプがいる。しかし、今まで著者自身もそうであったが、自分の性格を吟味した上でポジションを決定したことはない。それ故に、個々の性格が今まで以上に顕著に割り出すことができると、その選手に適したポジションや適しているプレーを見出すことができるかもしれないと考え本調査を実施した。

【方法】

調査日時…本調査は、2012年9月13日から9月16日にわたる大会合宿の前日の9月12日に行われた。

調査場所及び状況…本調査は、長野県菅平の合宿場で行った。選手を一つの部屋に集め、質問紙を配布し、その場で記入してもらい回収した。

調査対象者…W 大学サッカーサークルのプレーヤー36名(FW9名, MF10名, DF14名, GK3名)を調査対象者とした。その際、有効回答は35名(FW8名, MF10名, DF14名, GK3名)であった。

分析方法…質問紙を当日回収し、集計を行い、その後、4つのポジションごとの12因子の統計処理をLSD法で行った。また、ポジションごとの平均の素点を割り出し、プロフィール表を作成した。

質問紙…YG 性格検査(矢田部ギルフォード性格検査)を使用した。YG 性格調査とは、計120問の質問に対し、「はい」「いいえ」「どちらでもない」の3通りで答え、性格特性を測定するものである。120問の質問は、12項目×10問となっている。

【結果】

まず、12因子ごとに、4つのポジションの比較を行った。すべての因子から有意差を見出すことはできなかったが、D(抑うつ性)、Ag(愛想の悪いこと)、G(一般的活動性)、A(支配性)の4項目から有意差が見られ($p<.05$)、Co(協調的でないこと)項目では有意傾向が見られた。 $(p<.10)$

また、ポジションごとにプロフィールを作成した。すると、GKはAD型・DFはA型・MFはA型・FWはAD型という結果が出た。

A型(典型・潤型・混合型): 特に目立った特徴のない平均タイプ。性格のバランスがとれている。

B型(典型・潤型・混合型): 積極的に活発。不具合が生じると情緒と社会適応性が表面化。力を発揮しようとする。

C型(典型・潤型・混合型): 順応性・正確性・客観性であり、堅実なタイプ。行動は控えめで、受動的。

D型(典型・潤型・混合型): 行動的でリーダーシップがある。特に営業職・管理職に適応する。

E型(典型・潤型・混合型): 不具合が生じると殻に閉じこもる傾向がある。芸術や技術的な異才を持った場合が多い。

【考察】

D因子の差はFWの得点した時の心理的状況とDFの失点した時の心理的状況の違いであると推測した。失点に絡むことの多いDFがD因子のポイントが一番高く、一方失点に直接関わりを持つことの少ないFWが一番低いようである。Co因子では、最も高い値を示していたのはDFであった。最も高い数値が出ていたのはDF陣の学年が揃ってなかったからであったと考えられる。学年差という壁が、うまく言いたいことも言えないという状況を作り出し、Co因子が高くなってしまったと考えられる。Ag因子において、FWは最も高い値となっていた。FWは基本的に攻撃的ポジションであるという点から、Ag因子が高いことは推測できた。G因子はGKをのぞいて、ポジションが前に行くほど数値は高くなっている。これは、地味なポジションであるDF、花形であるFWという点に関わっていると思われる。DF寄りだと思われるGKは、着ているユニフォームも他の10人と異なり、また唯一手の使えるポジションで、他と逸脱しているということでG因子が高い値となっているようであった。A因子においては、仮説を立てた通りの結果を得られることができた。GKは、フィールド上で最も後方に位置している。したがって、10人すべてのプレーヤーの動きを見ることができる。そして、チームの悪い点や、修正すべき点をフィールドプレーヤーに伝えなければいけない。その点で、A因子である「支配性」は高い値を示していると考えられる。

プロフィールは個人で判定すると正確な性格特性を判定することができるが、団体の平均でプロフィールを作成すると、人数が多いほど平均寄りになってしまうと考えられる。